



# 小川 不朽 議員 … 2 件の一般質問

## 北海道新幹線工事と児童生徒の通学路などの安全対策について

### 町長：1 日 100 往復のダンプが往来 安全対策、町としても積極的に関わっていききたい

**小川**

北海道新幹線の延伸に向け、本町においてもトンネル工事が始まるうとしている。

①トンネルの掘削土砂を花園牧場へ受け入れることに至った経緯やこれら工事の概要について。  
②重金属などの有害物質が掘削された場合の対処について。  
③新幹線工事に伴い、工事車両の往来が大幅に増加することが懸念されるが、児童生徒の通学路の今後さらなる安全対策が必要と考えるが。

**町長**

北海道新幹線建設に関する残土受け入れについては、1カ所で受け入れ可能な町有地であることや、未利用部分へ残土を受け入れることで放牧地・採草地としての利用範囲拡大が可能となる花園牧場を候補地とすることとしている。

工事の概要としては、二ツ森トンネル鹿子工区の工事期間は平成28年度から平成33年度、発生土量53万m<sup>3</sup>、来年の4月ごろより土砂の運搬が始まり、最盛期には1日100

0往復程度のダンプ往来を見込んでいると聞いている。羊蹄トンネル比羅夫工区の工事期間は平成30年度から平成36年度、発生土量73万m<sup>3</sup>を予定していると聞いている。市街地を含むトンネル以外の工事については、発生土量25万m<sup>3</sup>程度と推測される。

運搬経路については、8月24日に事業者から工事説明会が開催されているが、今後改めて営農作業への影響軽減や冬期交通の確保、待避所やルート選定を含めた残土運搬方法、原因者の負担等、また、通学路の安全対策について、町としても積極的に関わっていききたい。

鉄道・運輸機構の地質調査では、町内において重金属等に対する問題はない状況であると聞いているが、搬入は認められないと認識している。

**教育長**

児童生徒の通学路における安全対策については、これまで町通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して改善策に関する

協議を行っている。

8月24日に、事業主体である鉄道・運輸機構と受注者による工事説明会が開催されたが、この後改めて年内に意見交換会と工事説明会を実施することとなっている。この説明会で示される工事計画等の内容を確認した上で、各学校とも連携をとりながら、道路管理者を始めとした関係機関と協議を重ね、子どもたちの登下校時における安全確保に努め、事故のないよう対策をとっていききたい。

### 旭ヶ丘総合公園におけるマウンテンバイク専用コース、フットトレイル整備事業について

**小川**

現在工事中の本事業について、いまだ町民に対して周知されていない。旭ヶ丘総合公園としての本事業の位置づけ、目的、事業の主体、事業費、事業化などの計画など、本事業の概要について伺う。

**町長**

旭ヶ丘総合公園は、スキー場を中心としたスポーツゾーン、またスポーツ・レクリエーション拠点、緑の拠点として位置づけられ、長年にわたり町民に親しまれてきた。

国際リゾートとして通年観光を実現するための環境整備事業として、フットトレイルの旭ヶ丘夏季利用整備構想及び実証コース造成を含む5本の事業から成っており、平成28年7月1日に倶知安観光協会と業務委託契約を締結した。

今回の実証コースの造成に関して、7月20日付公園占用許可書の交付により11月30日までの期間で占用することとなっている。今後はこのコースを使用した実証実験を実施し、次年度以降に向けたヒアリング、アンケート調査を行う予定でいる。

マウンテンバイクを活用し、夏の来訪者を増加、周遊促進を図ることで交流人口を高め、この旭ヶ丘総合公園が将来的には二セコエリアの新たな観光交流の拠点として、ス

キー場施設夏季利用の活性化を図る実証事業である。

実証実験を含めて目的外使用ではないかという指摘もあるうかと思うが、今回については、スキー場の正面のコースのみとして実証する。

今後の動向を踏まえながら旭ヶ丘総合公園のあり方について精査していきたい。



実証実験が行われている旭ヶ丘スキー場